

タイ・シラパコーン大学文学部と基本合意

5月10日、東川町とタイ・シラパコーン大学文学部(バンコク都、ラワンカナ・ニパッサックキツト学部長)との間で同大学生の日本語学習留学に関する基本合意の覚え書き協定を結びました。



シラパコーン大学ニパッサックキツト学部長(左)と基本合意しました

ニパッサックキツト学部長、ナオワラット・パティパックディ副学部長が来町し、役場で両者が協定を結びました。シラパコーン大学は今後、留学生年2人を町立東川日本語学校、北工学園旭川福祉専門学校に送り、東川町は学費教材費、寮費を負担するというものです。

先に今年2月基本合意を締結したマハーサラーム・ラーチャバット大学(マハーサラーム県)、4月に合意したスアンスナンター・ラーチャバット大学(バンコク都)と同様の協定です。松岡市郎町長は今年2月に訪タイした時にニパッサックキツト学部長と会談してすでに基本合意しており、この日は正式な協定締結と町内視察のために来

豊作願って神饌田で田植え

5月6日、東2号北1、三田常男さん(69)方の北海道神宮神饌田(しんせんでん)で、今年の田植え期を祝う御田植え祭を行いました。



5月に入って気温の低い日が続き、最高気温は15・2度と水ぬるむにはまだ早く曇天の田の水温も低め。伊澤正裕権宮司の豊作祈願に続いて早乙女12人、介助役6人が素足になってまだ冷たい水田に入りました。今年は東川中学校の女子生徒2人も。早乙女は介助役から稲の苗を受け取

り、田植え唄(うた)のゆつくりとしたリズムに合わせて「ゆめびりか」を手植えし、豊作を託しました。今年の御田植え祭は昨年より2日早く、平年に比べても早い田植え。生育が順調に進めば9月上旬に稲刈りを迎え、北海道神宮に新米約10俵(1俵は60キログラム)を奉納します。町内の田植えは15日ごろに本格的な最盛期を迎えました。

ふれあいの路「水路で清掃ボランティア

ふれあいの路(みち) 北町1丁目IIの水路に今年もきれいなせせらぎが戻りました。

5月20日、(株)アサヒ建設コンサルタント(旭川、竹林恭介社長)の社員が初めての水路清掃ボランティアをかつて出てくれました。同社の社員10人が大きなビニール袋を手に、東川中学校から東川高校にかけて約200メートル区間を大掃除。額の汗をぬぐいながら街路



樹の落ち葉や空き缶ごみなどを拾い集めました。午前中約2時間の作業でその量は軽トラ2台分以上にも。おかげで水路周辺はすっかりきれいになりました。

フィンランド初訪問の中学生が報告会



5月14日、役場大会議室でフィンランド・カンガサラ市のピッコラ中学校に初訪問した東川中学校生徒の報告会を行いました。

東川中学校の生徒6人ら9人。「初めは英語も話せなかつたけれど、慣れるにつれて会話することが出来た。料理もとてもおいしかった。学んだことをこれからの生活に役立てたい」 石井絢菜さん(2年) II、「今もホストファミリーとメールを続けている。自分の視野が広がった。自分の将来に役立てたい」 釣谷沙里さん(同) II、「フィンランドの人が日本に来る時には、今度はホストファミリーとして歓

迎いたい。もっと英語を学びたい」 牧野心泉さん(1年) IIなど、それぞれ国際語としての英語の必要性に気づき、視野を広げて帰ってきたようです。一行はフィンランド教育を体験するため、今年3月19日から11日間、カンガサラ市を初訪問しました。8日間の滞在中、ホストファミリーの家庭と交流し、カンガサラ幼稚園、ピッコラ中学校、カンガサラ高校などを訪ねてフィンランドの教育の一端を見て授業も体験受講しました。カンガサラ、タンペレ両市内を見学して寒中水泳、サウナ体験、イースター祭など北欧文化も体験して楽しみました。

無事故誓って町民安全大会



5月20日、東川建設業協会(藤田裕三会長)、東川町交通安全協会(米田保会長)がそれぞれ、農村環境改善センターで東川町建設業安全大会、交通安全町民大会を開きました。町内各事業所、町内会代表、町内各団体代表などが出席しました。交通安全町民大会では約1200人が出席しました。米田会長は「死亡事故ゼロが740日間と続いている。これからも町内交通安全が続くよう努めたい」

とあいさつ。松岡市郎町長は「少しぐらい、ちよつとぐらい、という気持ちが取り返しのつかない大きな事故になる。意志を強く持つて交通ルールをしっかり守ろう」と交通安全意識の大切さを訴えました。旭川東警察署の稲津隆明交通第一課長は、東名高速道路で起きた実際の死亡交通事故のDVDドキュメント映像を披露し、出席者は事故の悲惨さを実感していました。

恒例、春の旭岳クロスカントリースキー講習会



4月24日、旭岳クロスカントリースキーコースで町教委主催の「ヘンリックと滑ろう」クロスカントリースキー講習会が開かれました。4年目を迎えた春山シーズンの今季最終講習会。町内をはじめ旭川、東神楽

講師は町スポーツ国際交流員のヘンリック・エンケさん(27)。体重をうまくスキーに乗せて滑るコツやタイミングを中心に、左右に足を開いて滑るフリー走法を学びました。この日は途中みぞれ模様の天候でしたが、ザラメ雪状態のコースはまだ比較的コンディションも良く保たれていて、参加者同士のミニスプリントレースなども楽しんでいました。